



NIE実践指定校の活動報告などがあった全体会＝26日、福井市の県教育センター

# 読む、書く力育成に成果

## 福井で研究会 8実践校が報告

NIE(教育に新聞を)実践指定校の小中学校教員らでつくる「県NIE教育研究会」の本年度第3回全体会は26日、福井市の県教育センターで開かれた。実践校8校の成果報告があり、書く力や読解

力の育成につながる活動が紹介された。

敦賀市栗野中の織田智範教諭は、1年生の朝学習で週2回、新聞1面のコラムを書き

写し、自身の感想や意見をまとめる活動などを発表。「新聞を読む機会が少なかった生徒も興味を持って読むようになってきている。文章を書く力や語彙力、伝える力の向上に効果が期待でき、今後も継続していきたい」と話した。

また、日本NIE学会常任理事を務める神奈川県横須賀市立武山小の臼井淑子教諭が「読解力を育成する小学校国語科におけるNIE」と題して講演した。

で生徒が気になった記事を要約し、考えをまとめる「NIEノート」や、朝学習で選んだ記事の内容や感想をペアで伝え合う「NIEタイム」を実践している。齊藤永敏教諭は「日常的に新聞に触れる活動を充実させる中で、読解力や問題発見力が伸びていると感じる」と報告した。

実践校8小中学校、来年度からの新規実践校の教員ら約50人が出席した。

(宇野和宏)

